

～教科研修会（デザインシート検討）～

おはようございます。とうとう今日から2学期が始まります。前回の研修だよりでもお話しましたが、コラボ研修や教科研修会では、あまり、みなさんで話をする時間を設定することができませんでした。そこで、2学期に中島先生のデザインシートについて、全員で話す機会を、全体研やミニ研等で作ることができたらいいなと思っています。詳しくは、研修委員会の先生方と相談しながら、決めていくので、しばしお待ちを…

しかし、それまでも職員室等で話していけるといいかなと思います。そこで、今一度中島先生のデザインシートについて自分なりの解釈であったり、体育科におけるおもしろさって？などを整理したりしていきたいと思います。みなさんの話のたたき台にでもしていただけたらなと思います。

みなさん授業をデザインしていく中で、【教材の中心となるおもしろさ】を最初に分析していくと思います。では、体育科における教材の中心となるおもしろさとはなんでしょう。これは、「その運動が固有にもっているだれにでも共通する、運動の中心のおもしろさ」のことを指します。少し、抽象的で難しいですね。例えば、山中先生の5年生の走り幅跳びの授業デザインから考えてみましょう。

走り幅跳びの中心となるおもしろさを山中先生は「向こう側へ跳び越せるかな」と設定しました。そもそも、「跳ぶ」という行為は人間が獲物を追い求め、野山を駆け巡っていた時代までさかのぼります。人間が直立歩行を始めた時代、人々の中では生活上の必要から川や沼という幅のある広いものを跳び越え、またぎ越すことがごく自然な動作として行われていました。ここに走り幅跳びの起源を見ることができます。

しかし、走り幅跳びは現在国際陸上競技連盟において、「long jump」とされています。「long」には「距離が長い」という意味があることから、「long jump」では「跳躍距離」を競っていると見ることができますよね。しかしながら走り幅跳びの起源から、川や沼という幅（broad）のある広いものを跳び越えるものであったことを考えると、「broad jump（幅跳び越し）」がより起源に即した走り幅跳びの表現だと山中先生は考えられ、走り幅跳びの中心となるおもしろさを「長い距離を跳ぶのではなく、幅を跳び越すこと」として、授業デザインを組み立てられていました。

このように、体育における『教材の中心となる（運動の）おもしろさ』をデザインしていく中では、その運動の文化的価値、歴史的価値、その運動の起源からいままで残っていて、その運動をする際に誰しもが味わえるおもしろさのことを、運動のおもしろさとし、授業をデザインしていきます。（と僕は思っています。笑）そうなったときに、中島先生のバレーボールにおけるおもしろさは、どうなっているのでしょうか。もう一度、みなさん自分なりに読み、解釈をおこなってみましょう。

【教材の中心となるおもしろさ】をデザインした次は、学習内容です。先ほどもお話したように、中島先生の授業では、バレーボールを扱った単元ですので、バレーボールのおもしろさを味わうことができる単元構成をしていかなければいけません。どの時間でも授業デザインで設定した「バレーボールのおもしろさ」を味わうことができる単元構成になっているのかという視点で、検討していく必要があるのではないかと考えます。

また、デザインシートに【最終的に目指す子どもの姿】が書かれています。第14号の研修日よりでも書きましたが、教師は、単元の最後に目指している子どもの姿が立ち現われてくるような環境をつくらなければいけません。その環境というのが、体育ならば「場や課題」になってくると思われます。場や課題の重要性はコラボ研の三谷先生の提案でも、お話があったと思います。その視点で見た時に、中島先生はどのような環境をデザインしているのか、どんな課題や場を子どもに与えようとしているのでしょうか。「子どもの行動を直接的に変える」ではなく、「子どもの行動（姿）が結果的に変わっていくような環境（課題や場）を与える」ことが、重要になってくると思われます。

おもしろさに迫らせるための手立てもデザインシートには書かれていました。本当にその手立てで、運動のおもしろさに迫ることができるのか実際に動いてみることも大切です。8月上旬に1度動いてみてはいますが、デザインシートを自分なりに解釈してから動くのではまた、その運動の、見え方や感じ方も変わってくると思います。中島先生に頼まれてではなく、自分たちが解釈するためにも、声をかけ合い、実際に動き感じたことをまた、交流し合い、深めていきましょう。（これは、あくまで公開研のためであり、レクバレーのためにではなしですよ…絶対に…たぶん…）

また、自分の考えを整理するために有効な手立てとして、書くこと、話すことがあります。僕もこうやって書くことで少しずつ整理しようとしているのですが…人に話していると、意外と自分の中で考えが整理されていくことってありませんか？ありますよね？いや、きっとあります。デザインシート検討会で、中島先生と話していると、「あっ確かに、この部分はおかしいな。」「書いているときは気づかんだ。」と言っていました。きっと、まだ整理しきれしていない部分もあるのかと思います。子どもにも良く言いますよね。「ちゃんと自分の考え説明できやんだら、自分の力になったとは言えやんで。」って。（聴き合うことが大切なんやで、言えやんでもいいやんというツッコミは一切受けつけません）なので、自分の考えや中島先生の考えを整理するためにも、たくさん質問して、たくさん話して下さい。ぼくも昨年度、色々な先生方と話をしていく中で、自分の授業デザインが固まっていたので、思っているよりも話すという事は大切だと思います。

さて、そんなこんな朝から書いていたら時計の針が、6時45分です。本当は昨日会計だけを終わらせて気持ちよく帰った、某N島先生が「明日は6時集合やで！」と言って意気揚々と帰って行ったので私も眠い目をこすりながら5:30に来たのに、彼はほんの10分前に「おっ、今日早いやん。」と言いながら、爽やかな笑顔で出勤しました。昨日の約束はどうした、大丈夫か？（笑）やはり、この瞬間に、改めてみんなでしっかり支え、みんなで授業をつくっていきましょう…笑

みなさんで頑張りましょう！

（文責 甫本）